



「ネットの非常識」対策 モラル研修会が好評 機会があれば内容紹介

あつという間に2013年が終わろうとしています。みなさまにとってどんな1年だったでしょうか。人生において出会いと別れはつきものですが、年を取れば取るほど出会いの数より悲しい別れの数の方が多くなります。プライベートでは、とても親しい人との別れが多かった2013年ですが、仕事においては昨年にかけて新し

い出会いがとて多い年で、今までにない新たなことにチャレンジさせて頂けたおかげで悲しんでいる時間を打ち消してもらえたことに感謝しております。

新たなことへのチャレンジといえば、前号でお伝えした非常識写真問題などにパチンコ店で発生した事件事例と対応についてを講習するモラル研修会は、大変好評を頂くことが出来たので、このコンテンツをバージョンアップして機会があればこの連載で読者の方にお届けしたいと思っております。



新クレ满ポンプタイプ 空気吹き金属片を回転 メダル通貨誤認させる

前号でもお伝えした「アイムジヤグラーパーPEX」のクレジット上げゴトの新たなゴト器具（新型クレ满ポンプタイプ）ですが、11月上旬にあるホールで「アイムジヤグラーパーPEX」において、この新型のゴト器具によるクレジット上げゴト事件が発生した際に、壁役1人に逃走されたものの実行犯1人は警察に逮捕されたとの情

報が入りました。そのホールのセキュリティ担当の方から、新たなクレジット上げゴト器具（新型クレ满ポンプタイプ）の実物画像をご好意により送っていただきましてのでご確認ください。

写真を参照いただくと分かることですが、一見するとこの不正器具の形状はこれまでのクレ满クンと同様のように見えますが、この不正器具には電子部品を使った部分がなく、本体にはストロー状の空洞があり、その先には金属片が取り付けられた部品が回転するようになっています。

この不正器具の使い方は、今までのクレ满と同様にメダルの返却ボタンを押しながらメダル投入口に挿入してこの不正器具をセットします。メダル投入口から出てくる不正器具のストロー状の空洞の口に空気を当てると、その空気の流れて先端部分の金属片が高速で回転し、セレクトターがその金属片の回転の動きをメダルが通過した動作と誤認識し、結果としてほんの数秒でクレジットが満タンになるというものです。

この不正器具に空気を当てる道具は、自転車の小型空気入れ

ゴトに勝つ

28

高石隆一

ゴト師もスマホのアプリで 電磁波センサーの動作確認

(小型ポンプ)を改造したものを使用しており、右袖口に隠し持った小型ポンプの発射口をメダルを投入するフリをしながら空気を発射して新型クレ満を作動させるといふものです。

ジャグラー各機に拡大「器具」のメーカー鑑定 弊社も手口など協力

この新型クレ満ポンプタイプによる逮捕事例が千葉県であったと連絡が来た当日に、10月に福島県遊技業協同組合連合会主催のゴト犯罪対策セミナーを視察して頂いた福島県内のある所轄の刑事一課(盗犯係)の刑事さんからも、今までのクレ満ゴトと違う手口でゴトをやった犯人を捕まえたというところで、手口を解説(捜査協力)して欲しいとの電話がありました。

弊社は捜査協力として仕組みや手口の解説などのお手伝いは出来ませんが、刑事事件として立件するためには、この不正器具をメーカーに鑑定してもらうことが重要で、今回もメーカーに鑑定を依頼する予定だそうです。この記事が掲載される頃までには、鑑定結果から

このゴト手口に関する詳細な注意喚起や対策部品などがメーカーから提供されていることを願っております。

全国的に被害が多発しているこの「新型クレ満ポンプタイプ」ですが、前号で注意喚起した通りに「アイムジャグラーAPEX」だけでなく、「ハッピージャグラーV」「ミラクルジャグラー」「MJJジャグラー」でも被害が開始しております。「浮浪雲」「クリエーターMKII-30」「テンションブースター」に関しても、発売時期や筐体の構造などから警戒が必要な機種になりますのでお忘れなく。

数年前に多発していたセルによる釘曲げゴト再び発生して注意必要

次は前号でお伝えした「CRSパー海物語IN沖繩3」のゴト手口について追加情報です。前号では盤面下部のアウト穴付近に磁石を置いて右打ちをして、スタートチャッカー付近まで玉を積み上げて大きな玉掛かり(ブドウ)をつくった後に磁石を外して、スタート右側にだけブドウを残して、

そのブドウを利用してスタートに大量の不正入賞をさせるといふ手口について

お伝えしました。新たにセルによる釘曲げゴトが発生しているとの情報が入りましたので磁石ゴトと併せて警戒の程をお願い致します。

このセルによる釘曲げゴトは、2009～2010年にかけて全国的に多発したゴト手口ですので記憶にある方も多いと思いますが、その頃とは風営法の厳格化などホール環境が大きく違うので、被害にあった場合の後処理には最新の注意が必要です。

手口はガラス枠の左側に隙間を作って、その隙間からピアノ線等のゴト器具を挿入してワープ入口周辺の釘あるいは命釘周辺の釘を曲げることで、スタートへの入賞率を上げるというものです。ゴト器具を挿入する際には、ガラス枠に隙間を作るためにゲタ(導入板)やボールのようなものを使用しています。同一枠を使用している「CRわんわんパラダイスIN



沖繩」でも、同様のゴトが発生する可能性がありますので併せて警戒をお願い致します。

勝手に補修せず所轄へ

磁石ゴトと同様に、釘曲げゴトも各入賞口への入賞率を高めるゴトであることから、狙う入賞口に応じてスタートやベースなどのデータ異常が発生します。定期的なデータチェックとホールコンのアラート設定の数値を今一度見直すことで、大当りされる前に感知できる体制を整えておいてください。

もし、被害に遭った場合に、店側の判断で勝手に補修すると重大な風営法違反となる可能性が高いので、被害後の遊技台に関しては、所轄の担当官に相談の上で適正な届出をしてから補修を行うようお願い致します。窃盗や器物損壊などの被害者であるホール側であつ

でも、風営法では加害者になる可能性があることを忘れないでください。

「バイオハザード5」対策部品に工作し突破する手口が多発

何度かお伝えしているサミー「パチスロ攻殻機動隊SAC」を狙ったセルゴトですが、依然として全国のあちこちで被害が多発しております。既に設置もバラエテ

イーコーナーに1〜2台の設置状況のホールが多い中、その少ない設置をピンポイントで狙って犯行が繰り返されています。被害店舗の中には20円貸しだけでなく、低貸しコーナーでも被害が発生しているのです。貸しメダルの料金に係なく注意が必要です。

また、この「攻殻機動隊」と同様に未だに被害が多発しているの

が、エンターライズ「バイオハザード5」です。「バイオハザード5」は8月にメーカーからセルゴトを防止するための対策部品が提供されているのですが、このメーカーからの対策部品であるハーネスの透明チューブカバーが切り裂かれたり、ハーネス本体を狙っていた手口をハーネスが刺さっているコネクタの根元部を狙ったりする手口に変化して、メーカー対策が突破されて被害が多発しているのです。

ゴト器具の小型化や実行犯のスキルアップ 傷跡更にわかりにくく

「パチスロ攻殻機動隊SAC」では、筐体左上のスピーカーとプラスチックカバー部に隙間を作成し、その隙間部分からセルを筐体内部に挿入し、主基板左上にあるサブ

ハーネスのコネクタ部にセルを接触させます。そのセルに不正なコマンドを送信する電子機器

を接続し、その電子機器がニセの小役情報(A RTが抽選されるレア小役など)をサブ基板へ送信することでA RTを誘発させています。

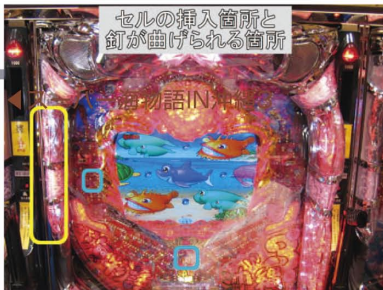
「バイオハザード5」も同様の手口で、筐体左上のオレンジ色のランプカバー左側に隙間を作成してセルを挿入するのですが、このランプカバー左側のセル挿入時の被害痕跡が非常にわかりにくいケースが出てきておりますので注意が必要です。隙間のないところに強引に隙間を作るので、被害に遭った場合にセルの挿入箇所を知っていれば、これまでは被害痕跡を見つけることは比較的わかりやすかったのですが、ゴト器具の小型化や実行犯のスキルアップなどの進化により被害痕跡が小さくなってきており、中にはほとんどわからなという事例も増えてきています。

「デビルメイクライ4」出荷段階で対策部品それも破られている

この「バイオハザード5」のゴト被害が多発している最中、今度のは「バイオハザード5」と同じメーカーであるエンターライズの

「デビルメイクライ4」でもセルゴトの被害が発生しております。手口は「バイオハザード5」のセルゴトと同様のようです。ちなみに「バイオハザード5」ではメーカー対策部品が突破されているとお伝えしましたが、「デビルメイクライ4」では「バイオハザード5」で配布されたメーカー対策部品が出荷段階で取り付けられていました。しかし、既に突破されていた対策部品のままだったので残念な結果になってしまいました。

「パチスロ攻殻機動隊SAC」バイオハザード5」「デビルメイクライ4」などのA RT機を狙ったコマンド送信型セルゴトの場合、実行犯の仕込みの犯行時間は3〜5分くらいと非常に短時間であるケースが多いのです。仕込み作業中に犯行に気がつくことが難しく、打ち子がA RTを消化している時の異常な出玉や異常なA RTの連チャンなどから発覚することがほとんど。中には最初の犯行時には気がつかずに連日万枚クラスの被害に遭ってからやっと気がつくという残念な事例もあるので、そのようなことにならないように全スタッフがゴトに対する危機意識を



セルの挿入箇所と釘が曲げられる箇所



攻殻機動隊:セル挿入の様子



バイオハザード:セル挿入の様子

持つようにし、気になる事案があれば小さなことでも報告・連絡・相談(ほうれんそう)の徹底をお願い致します。



情報やカメラからも 犯行確実なのだが センサー発報しない例

前号でスロットの電磁波ゴトに関して、スロットに向けて電磁波を試し打ちする怪しいグループの情報をお伝えしましたが、先日東北地方で発生した山佐のART機を狙った電磁波ゴトでは、犯行時に電磁波センサーの動作をチェックするゴト師が確認されました。

近隣店舗で「パチスロ鉄拳デビルVer.」に設置した電磁波センサーが発報する事例が相次いだので警戒していたところ、見慣れないお客様が打っている「パチスロ鉄拳2nd」でARTが異常な連チャンをしているのを不審に感じ、防犯カメラの録画映像をチェックしたところ、入店してすぐに「パチスロ鉄拳2nd」に着席し、サンドに千円を入れて50枚のメダルを借りてからしばらくの時間何もする様子もなく、ただ遊技台の前

に座って数分経過したところで、借りたメダルをそのままにホールから出て行き、駐車場の防犯カメラには当該ホールから離れた近隣商業施設に向かう姿が残されていました。その後、しばらくしてホールに戻ってきて、先ほどの「パチスロ鉄拳2nd」に着席し、遊技を開始するとすぐにARTに突入して連チャンが続いているという状況が確認できました。

近隣店舗の情報や防犯カメラの映像からも、電磁波ゴトによる犯行の可能性が極めて高い状況で、この事案の直前には当該ホールの「デビルVer.」に設置した電磁波センサーが発報して怪しい人物が逃走する事件も発生していたようです。しかし、被害台であるこの「パチスロ鉄拳2nd」に設置した肝心の電磁波センサーが発報しなかったため、電磁波ゴトだと断定する決め手がなく、対応に困って相談の電話が来たのでした。



設置場所替え時に 動作確認しなかった ケアレスミス

ART機を狙った電磁波ゴトは、

コマンド送信型セルゴトと同様に、遊技をせずに直接サブ基板にだけ成立もしていないレア小役の情報を送り込みます。このレア小役が送り込まれた時に、筐体の枠ランプやパネルが激しく点灯したり、消灯したりするケースが確認されております。

これらの状況が防犯カメラの録画映像に残されているかを確認してもらったら、遊技していない状態なのに不自然な枠ランプの点灯が確認できたので、遊技していた不審者にはゴト被害の可能性が高いので出玉交換が難しいと説明したところ、あっさりと退店していったそうです。

最近ではゴト師も多くなっているため、簡単に引き下がってくれたのは有難かったのですが、後日この不審者から電話で出玉を交換して欲しいと言ってきたのですが、ホール側は電磁波ゴトの被害として警察への通報を検討している旨を伝えたところ、その後電話は来なくなりました。

被害台の「パチスロ鉄拳2nd」に設置した電磁波センサーが発報しなかった理由は、当該遊技機の設置場所を移動した際に電磁

波センサーの動作確認(発報)を行っていないかったというケアレスミスが原因でした。

あるスマートフォンのあるアプリを使って、電磁波センサーの動作確認をする方法を当該ホールの方に伝えたと、**「パチスロ鉄拳2nd」**で電磁波ゴトを行っていた不審者が、私の伝えた電磁波センサーの動作確認する方法を実施していたというのです。ホールの方がとても不思議に感じた行動だったので、はっきり覚えていたそうです。このように敵(ゴト師)は捕まらない為の知識武装に力を入れて、ますます進化していることが伺えます。これを迎え撃つホール側に少しでも役に立つ情報を来年も提供して行きます。2013年もありがとうございました。2014年も宜しくお願い致します。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち
警備会社の指導員、セキュリティ会社を経て2003年、有限会社ジャパンセキュリティサービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務めるかわら、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。二期二云が座右の銘。